

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	臨床病期 IA 期肺腺癌における病理学的浸潤径の術前予測
	研究目的	新しい第 8 版の TNM 分類では，病理学的な T 因子として腫瘍径ではなく浸潤径を用いるが，術前の薄切 CT で病理学的な浸潤径を最も予測できる撮影条件についての報告は少ない .本研究の目的は ,当センターで 2009 年から 2017 年に完全切除を施行した UICC-TNM 第 7 版に基づく臨床病期 IA 期肺腺癌 1167 例を後方視的に解析し，術前薄切 CT のどの撮影条件が肺腺癌の病理学的浸潤径を最も正確に評価できるかを判断することである .
	研究期間	西 暦 2018 年 6 月 15 日 ~ 西 暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	鮫島 譲司
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし